



交通事故分析 インフォメーション



飲酒後に道路を歩く際は 交通事故に要注意!

※過去10年（H28年～R7年）の死亡・重傷事故データをもとに分析、数値は10年間合計数

アルコールが体内にある（飲酒あり）状態は、通常（飲酒なし）の状態と違って身体がふらついたり、注意力が散漫になります。

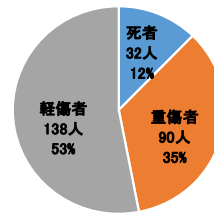
外での飲酒後帰宅等のため道路を歩くこともありますが、**飲酒ありの状態では、歩行中に交通事故に遭うと、飲酒なしの場合と比べて重大事故にあう可能性が高い**ので、十分注意してください。

歩行中死傷者の割合

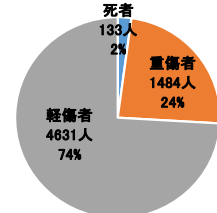
飲酒ありの場合、死者が12%、重傷者が35%で、いずれも飲酒なしの場合より割合が大幅に増加しています。

➡ **飲酒ありは重大事故になりやすい!**

歩行中死傷者（飲酒あり）



歩行中死傷者（飲酒なし）

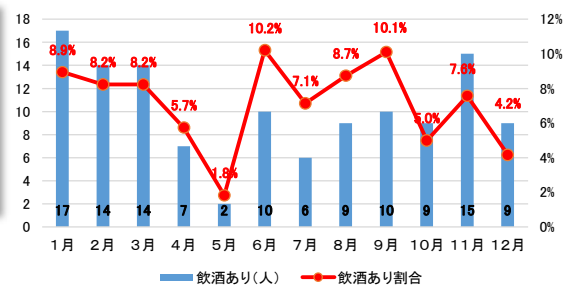


月別歩行中死者・重傷者数

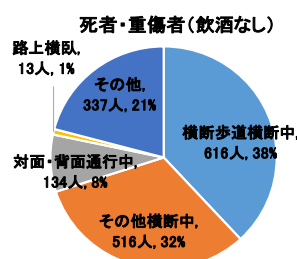
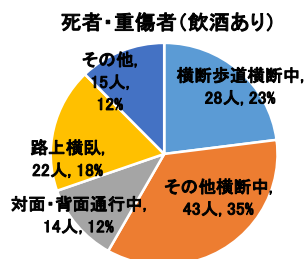
11月から3月の間は、飲酒ありの歩行中死者・重傷者数が多く、全歩行中死者・重傷者に対する割合も高い傾向が続きます。

➡ **11月～3月は要注意!**

歩行中死者・重傷者（飲酒あり）人数と全歩行中死者・重傷者に占める割合



歩行中死者・重傷者が関係する事故の事故類型



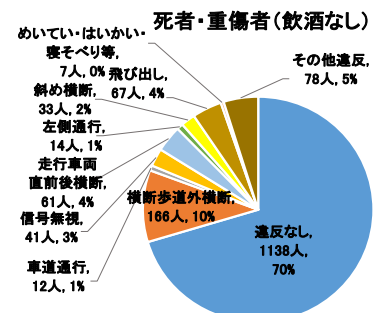
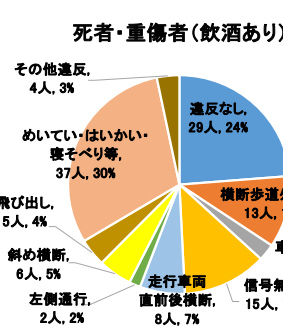
飲酒ありは、飲酒なしと比べて横断歩道横断中の割合が減少し、**横断歩道のないところでの横断（その他横断中）や、道路上に横たわった状態（路上横臥）の割合が増加しています。**

➡ **路上横臥の割合が増加!**

歩行中死者・重傷者の法令違反

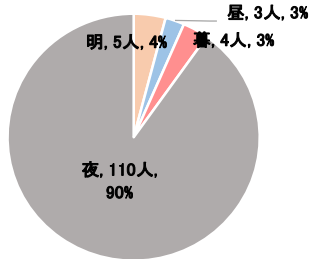
飲酒ありの歩行中死者・重傷者は、違反なしの割合が減少し、**めいてい・はいかい・寝そべり等の割合が大幅に増加し、信号無視の割合も増加しています。**

➡ **違反なしが減少、めいてい・はいかい・寝そべり等が大幅に増加!**

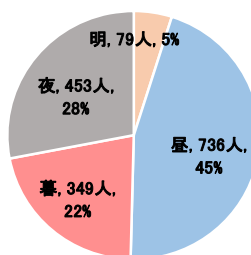


歩行中死者・重傷者が関係する事故の昼夜別発生状況

死者・重傷者（飲酒あり）



死者・重傷者（飲酒なし）



※「明」：日の出前後1時間以内

「暮」：日没前後1時間以内

飲酒ありの場合、**9割が夜に発生**しています。

飲酒なしは、**昼が5割弱を占め**ています。

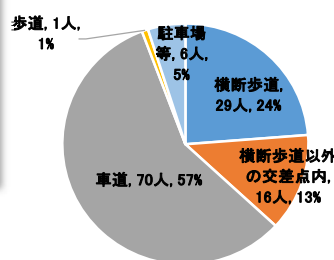
➡ **9割が夜に発生！**

歩行中死者・重傷者が関係する事故の衝突地点

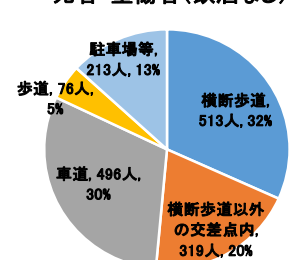
飲酒ありの場合、飲酒なしと比べて、横断歩道以外の交差点内、横断歩道、駐車場等の割合が減少し、**車道の割合が増加して約6割を占めます。**

➡ **約6割が車道での衝突！**

死者・重傷者（飲酒あり）

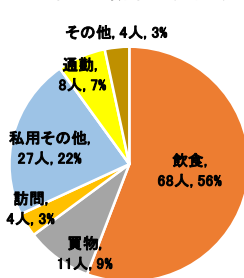


死者・重傷者（飲酒なし）

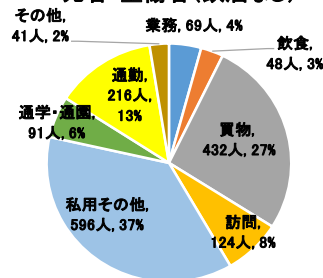


歩行中死者・重傷者の通行目的

死者・重傷者（飲酒あり）



死者・重傷者（飲酒なし）



飲酒ありは、飲酒なしに比べて、買物、訪問、業務、通学・通園の割合が減少し、飲食が大幅に増加し、**約6割を占めます。**

➡ **飲食が約6割を占める！**

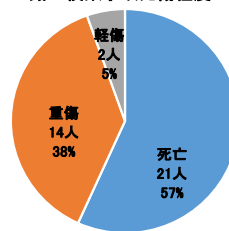
（参考）路上横臥（道路上に横たわった状態）事故について

路上横臥事故は95%が死亡又は重傷事故となっています。

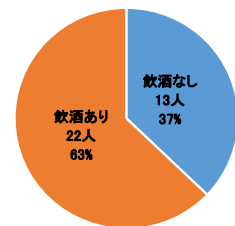
路上横臥事故の死者・重傷者は、6割以上が飲酒ありでした。

➡ **95%が死亡・重傷事故！**

路上横臥事故死傷程度



死者・重傷者



車のドライバーも歩行者に注意！

いるかもしれないと考え、安全確認をしっかりとしましょう。

車道には、落下物のほか、横断者や道路で寝込んでいる人がいるかもしれません。脇見運転はせず、夜間はハイビームを活用するなどして、道路に何もいないかよく確認して走行しましょう。